

第5回国際コンファレンス

「決済システムの強化を考える

- アジアにおける決済の円滑化と資金循環の活発化 - 」

の概要

アジア諸国は、高い貯蓄率と、貿易に依存した成長をしている国が多いことが特色である。しかし、高い貯蓄は、主に米国の債券に長期的に投資され、アジアには株式などの短期の資金として還流している。

サブプライムローン問題の発生は、アメリカの住宅金融だけの問題に留まらず、ヨーロッパを含む世界の金融機関に対し、証券化商品を通じて大きな影響を及ぼしている。

従来は銀行部門にだけ、不良債権が蓄積され、信用収縮を促すことが懸念され、証券化手法を用いて、貸出債権をオフバランス化させることによって、銀行の貸出行動を円滑化させることが必要と考えられてきた。

しかし、証券化商品を格付機関が安易に優良な格付けを付与し、質の悪い住宅債権も証券化され、さらにそれらが転売され、購入した投資家が、全世界的に大きな不利益を被り、世界的な信用収縮をもたらしてしまった。

今回の金融危機によって、アジアは、直接的な影響は少なかったが、欧米の景気後退によるアジア諸国からの輸出の減少により、国内投資が低下し、景気が大きく落ち込んでいる。さらに、欧米から流れていたアジアの株式への資金が急に先細りし、アジア諸国では、株価の低迷にも悩まされている。

こうした時期には、決済システムの安定化も、アジア諸国では重要な政策課題となっている。

今回の国際コンファレンスの目的は、アジアの決済システムの現状、今後の発展について議論することを目的に、アジア各国から専門家をお招きして、会議を開催した。

第1部では、アジア各国（インドネシア、フィリピン、マレーシア、タイ）の資金の流れの現状、決済制度の現状についての報告がなされた。アジア各国ともに、国の決済集中制度は整備され、電子化による決済も進みつつある。しかし、中小企業(特に小企業)は、こうした決済システムへのアクセスが困難であるのが現状である。また、インターネット・バンキングも、タイでは急速に拡

大している。フィリピンでは、海外への出稼ぎが多く、海外からフィリピンへの送金が多く、ノンバンクによる（銀行を通じないか資金業者などを通じた）決済が利用される比率が高く、制度整備の必要性が課題となっている。

決済システムの (i)安全性・信頼性の確保、(ii)なるべく低いコストで送金できるシステムを考えること、(iii)不法行為に対する法的整備、(iv)決済システムの検査・監督、(v)地方の中小企業でも決済システムを利用できるように対応すること、などが各国とも課題となっている。

第2部では、決済システムの進化・技術革新・規制ルールについて、HSBCと日本から、報告がなされた。これらの経過を踏まえ、第3部では、今後の決済システムについてのパネルディスカッションがなされた。

決済の場合には、決済の相手となる事業体や個人の倒産リスク（Counter party Risk）の存在がある。また、技術革新を促すためには、決済システムへの参入の自由を認め、決済にかかるコストをなるべく低くすることが求められるが、同時に、自由な参入は、決済システムの安全性には逆行することもありうるため、両者のバランスを常に考える必要があると指摘された。

- (1) 決済の履歴を記録しておく制度を各国ともに充実させることにより、不法行為などを摘発できるような制度としておくこと、
- (2) 銀行を通じる決済と銀行以外のノンバンクを通じる決済が並存している国々がアジアでは多く、両方の決済のチャンネルを維持しながら、技術革新を進めると同時に、規制・監督のあり方を考えること
- (3) 小口決済と大口決済の二つの決済制度は、コストもシステムも異なっており、それぞれの特徴に合ったシステム対応が考えられる。特にアジアの小企業は大企業のように決済システムを利用できない場合があり、高いコストを決済のために支払わずに利用できる方策も考慮の余地がある、
- (4) アジア諸国では、金融制度の発達も国によって大きく異なり、決済制度の発展度合いも、国ごとに大きな違いが見られる。しかし、アジア各国を通じた決済システムのリンクの構築により、各国の決済取引が、よりスムーズに行える制度を目指すことが必要であると考えられる、
- (5) 金融危機などの危機に対応して、決済システムが安定的に維持できるように、アジア各国の協力による決済システム安定化のための制度作りも望まれる。

金融の円滑な循環のためには、決済システムの整備、技術革新による効率化の促進、取引の安全性、信頼性の確保、さらには、決済システムの監督・法整備は、アジア各国ともに重要な課題である。金融危機に直面しても、決済システムは安心して日々、利用できることが、経済活動の安定化にとって、不可欠な要素である。今回の国際コンファレンスを機に、アジア諸国との連携も含めた決済システムの高度化が目指されることを期待したい。